



一般社団法人

ロゴス腹話術研究会

2019年10月30日

会報

第11号

説教 いのち輝かせて生きる

春風つばめ

「さて、あるファリサイ派の人が、一緒に食事をしてほしいと願ったので、イエスはその家に入って食事の席につかれた。この町に一人の罪深い女がいた。イエスがファリサイ派の人の家に入って食事の席に着いておられるのを知り、香油の入った石膏の壺を持って来て、後ろからイエスの足もとに近寄り、泣きながらその足を涙でぬらし始め、自分の髪の毛でぬぐい、イエスの足に接吻して香油を塗った。」

(ルカによる福音書7章36～38節)

ガラリヤ地方のある町に「罪深い女」がいました。この女性の名前が伏せられているのは、この女性に対する配慮からであると考えられます。しかし、この女性が、世間から罪深い女として蔑まれ、後ろ指をさされていた存在であったことは間違いのない事実です。そして、そんな罪深い女性もイエスに出会っていました。



なぜ、町の人々から卑しまれ、蔑まれるような身分に身を落とさなければならなかったのでしょうか、その経緯は聖書に記されていません。しかし、彼女は売春婦に、あるいは盗人のたぐいにまで落ちぶれても生きていかなければならなかったのです。もちろん、彼女と同じような境遇にあっても、さらに厳しい貧しさに耐え、世間から後ろ指をさされないような人生の選択をする人もあったでしょう。しかし、彼女がそこまで身を落としてしまうには、彼女の弱さ・未熟があったと考えられます。

彼女は誰からも蔑まれていました。彼女自身も、自分で自分を認めることができませんでした。そういう惨めさのきわみ、寂しさのきわみ、むなしさのきわみ、地獄のような苦しみの中で彼女はもがいていました。そして、その底なしの泥沼の中で、イエスに出会っていました。

こんな自分を認めてくれる人がいる。

こんな自分を大切にしてくれる人がいる。

イエスに出会って、彼女はそう思いました。その想いは、彼女の心に小さな花をひらかせました。小さいけれど、それはかけがえのない花でした。それは生きることへの希望です。町中の人々が彼女の姓を否定しても、彼女は前を向いて歩いてゆくことができたのです。

どんなにみじめな生き方をしなくても、自分には支えがある。希望がある。

その希望をもたらしてくださった方が、今、町におられる！胸は高鳴り、心ははやりました。

彼女は、あるファリサイ派の人の家に入り、「後ろからイエスの足元に近寄り、泣きながらその足を涙でぬらし始め、自分の髪の毛でぬぐい、イエスの足に接吻して香油を塗った」と聖書に書かれています。

イエスを招待したファリサイ派のシモンは「この人がもし預言者なら、自分に触れている女がだれで、どんな人か分かるはずだ。罪深い女なのに」と思いました。すると、イエスは彼に言われました。

「この人を見ないか。わたしがあなたの家に入ったとき、あなたは足を洗う水もくれなかったが、この人は涙でわたしの足をぬらし、髪の毛でぬぐってくれた。あなたはわたしに接吻の挨拶をしなかったが、この人はわたしが入って来てから、私の足に接吻してやまなかった。あなたは頭にオリーブ油を塗ってくれなかったが、この人は足に香油を塗ってくれた。だから、言うておく。この人が多くの罪を許されたことは、私に示した愛の大きさでわかる。許されることの少ない者は、愛することも少ない。」

そして、女の方をご覧になって、こう言われました。

「あなたの罪は許された。あなたの信仰があなたを救った。安心して行きなさい。」

すると、同席していた人たちは「罪まで許すこの人は、いったい何者だろう」と考え始めた、と記されています。

そこには沈黙があり、罪深い女の魂のまばゆい輝きがありました。

「雲中水、土中金、石中火、木中花」という言葉があります。誰もが仏性・神性を秘めていることを言ったものです。「雲中水」は、雲の中の水と氷がくっついて大きくなり、重くなると「雨」や「雪」となって落ちてきます。「土中金」は、土でおおわれていたものが取り除かれると「金」が現れて来ます。「石中火」は、石と石がぶつかることによって（切磋琢磨することによって）、火を放ちます。「木中花」は、例えば桜の木のどこを切っても桜の花は出て来ませんが、寒さと暖かさの条件が整うと、時巡り来りて美しい花を咲かせます。そのように誰でも仏の慈悲、神の愛、神の光を秘めているということです。

聖書には「あなたがたは世の光である」（マタイ福音書5章14節）、「光の子として歩みなさい」（エフェソの信徒への手紙5章8節）と書かれています。自らの内から仏性・神性を引き出して歩みなさい、ということです。

罪深い女が周囲の人々を照らす神の光を宿しているとは、町の人たちは誰も想像していなかったことです。彼女自身気がついていませんでした。しかし、イエス・キリストに出会ったことによって、そのような人生を生きることができるようになりました。

私たちもイエス・キリストに愛されている一人ひとりです。いかなる時と場にあっても、キリストに愛されていることに気づいて、光の子として歩んでゆきましょう。イチロー師匠の腹話術の「心とわざ」をしっかりと受け継いで奉仕活動に励み、いのち輝かせて生きてゆきましょう。

日本初代教団島之内教会牧師 木戸定
(ロゴス腹話術研究会総会開会礼拝説教より)

- 腹話術のくせにしたい事。大きな口をあけ、ニッコリチーズ。笑顔で9パタ。笑いは同じ事を3回言うと笑いが込み上げてくる。「最初の5秒で勝負が決まる。笑顔だよ」
- 認定会の前日から緊張し、当日はずっと心臓が壊れないかと思う程、バクバク、ドクドクして止みませんでした。しかし壇上にあがってみましたら、私の知っている人も知らない人々も、すごい笑顔を返してくださいました。そしたら、なぜかスーっと今までの緊張が抜けて、腹話術の演技に集中することができました。自分でも本当に不思議な体験だったと思います。「笑顔」という力なのかどうかわかりませんが、大切だということを学びました。

参加の皆様から寄せられた腹話術の仲間を増やすアイデア（抜粋）

- 年齢の若い層向けの初心者研修を行う。パクちゃん人形や、余っている人形を貸し出して習い始めやすくする。
- ボランティア等で活動する機会を多くし、習いたい人を見つける。機会を増やすことが大切。とにかく人の前で演じる。子どもと会話して興味を持たせる。色々なグループと一緒に活動すると広がりやすい。
- 腹話術を楽しく演じることで、興味を持ってもらう。感動を与える演技をする。
- 「誰でもできるのよ、一緒にどうぞ」の声かけ。演じながら会報、名刺を配布してPRする。
- 社会が要求する台本を作る（詐欺、交通安全、防災）。交通安全課で何が必要とされているかの情報収集をする。保育関係の情報誌に広告を入れる。
- （腹話術の魅力）聞いている人が話の内容と一緒に感動してくれる。老人が泣いて喜んでくれたり、子どもたちが反応して触れ合いを求めてくる。人形の力。人形を介すると、内容をわかってもらえることがある。仲間がいるのが魅力。

合格者 ※敬称略



「カエルになったぼた餅」
石関みつ子



「イツツ」
長坂三枝子

研修会 「台本について」 春風とんぼ

「とにかく『腹話術のすべて』を頭から尻尾まで読んでください」と言いかけましたがやめました。まず重点的に読んでもらいたいところがあります。その間に細かい部分も読んでもらいたい。そうするとね、本の意味がわかってくると思うのです。イチロー師匠は、「この本にメモで全部書き尽くしたら言ってこい、そうしたらもう一冊記念にあげる」と言われましたね。

今回腹話術の台本について話すきっかけになったのは、CBCTV「俳句バトル」というテレビ番組です。「俳句を作ったら、その言葉を膨らませなさい」とその先生おっしゃるんですね。膨らませるといっているのはどうい

ことか？とんぼは「台本の中にルビをふってください」と言うんです。ルビってなんだって質問あまり来ないんです。

『腹話術のすべて』には10パタがあるんです。一番鮮烈なのは、第三回全国大会で今から50年以上昔の話です。3時間くらい腹話術の技術認定やったんです。長かったので、招待した老人会の方、子どもたちが嫌になっちゃった。そこへね、イチロー師匠がケンちゃんを連れて登場したんです。そうしたら、5秒でシーンとしたんです。何が起こったのかな？師匠は1歩、2歩舞台から足を進めた。そして変則10パタです。

- こんにちは、どなたですー
- × ケンチャンナノ
- あーあーあーあーそうですか
- × アーアーアーアー ソウデスカ

名古屋市の大会場が、割れんばかりの拍手になっちゃった。ケンちゃんが登場してわずか5秒で世の中がひっくり返った。

ある時イチロー師匠から「一日のうちにロゴス、腹話術のことを何分考えてくださっていますか？」と聞かれました。私は意気揚々として「2時間です」と言いました。2時間と言ったら、大きいですね。24時間のうち8時間寝るでしょう。特に仕事は営業でしたから、「今日は国立病院に行った。明日は赤十字病院に行って、何を売ってこようかな」とか、「あいつはきちんと仕事をしているかな。会社に戻ったら聞いてやらないといかんあ」とか、そんなことを考えておるわけですね。だから腹話術のことなんか考える暇って、実はないんですね。なんていうことは、師匠にはよう言いませんでしたけど。意気揚々と「2時間です」と答えました。すると「たった2時間か？」と言われました。今はね、だいたい8時間くらい考えますね。この8時間で何を考えているかというのと、これなんです。思い出すことは何でも書くんです。(写真)



これでやっているのは関連記憶法です。クイズみたいなものです。

例えばね、皆さん、新聞のクイズやりますか？私は大好きで、毎週やるんです。二枚の絵の違い探しとか、クロスワードパズルとかね。威張った言い方をさせてもらおうと、皆さんが2-3時間かかるのを、私は5分くらいでやっちゃうんです。30ピースのジグゾーパズルも好きです。そのために背中が痛くなってね、病院に行きましたけど(笑)。そんなにはやるもんじゃありません。物には程度がありますよ。2-3か月休憩とったので、また最近やり始めました。誰かがやっているとね、そばに行ってね、「そうじゃないよ」と言ってしまうから嫌がられますけどね。お正月には、難しいクロスワードパズルが中日新聞に出ますね。難しくて時間がかかりますよ。関連する言葉を探します。例えば、四つマスがあって左に「一」とあると、「一進一退」、「一挙両得」なんか考えて入れようとします。関連して、どういう言葉があるか考えるのです。

今いる施設の1階では、週3回デイサービスで遊ばせてくれるんです。その時集まってくる人は、30人いるんです。私はその人たちの名前直ぐ全部覚えました。覚え方として、ある方の場合、苗字は総理大臣の「村山」さんだ、そして下のお名前は、イチロー師匠の奥さんの「文子」さんだ、という具合に「村山文子さん」を覚えて、「文子さーん」って呼ぶんです。

「かよちゃん」という方もいますよ。私が「かよちゃん」っていつも呼びかけるんです。するとその方は、すごくニコニコするんです。でもいつもは、ずっと怒っている人なんです。それわかっているから、スタッフは「とんぼ先生、早く降りてきてよ」って言うんです。

関連記憶法、話法というのがこういうものから生まれてくるんです。

台本を作る時にも、関連した言葉を出していきます。台本は、その場で即興でできると思っている人がいますが、即興ではないんです。一つの台本に1か月はかかるんです。だいたい5分くらいパーッと目を通すんです。そして放っておく。1か月の間に3-4回目を通して、5-6回目に仕上げをする。だからどうしても1か月はかかります。今日も調子に乗って、春風つばめ先生にね、「あの台本作ったらどうですか、面白いですよ。」と言いました。そうすると責任を持たなくてはいけない。言った後、悩みますけど（笑）。言うほど簡単ではないんですね。

言われてから気が付いたのですが、1パタと10パタは第三回の全国大会でイチロー師匠がやられていた。その当時10パタなんて言葉はないですよ。こういう風にやるんだって師匠が教えてくれた。術者とお人形が、かわりばんこにお辞儀します。

「こんにちはー」「どなたですー」

「お人形のケンちゃんです」

身体は横に倒れますよ。「あーあーあーあー」「そうですか。」
(図1)

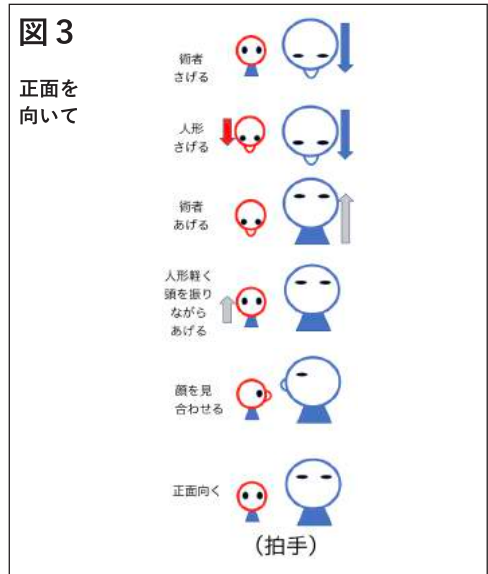
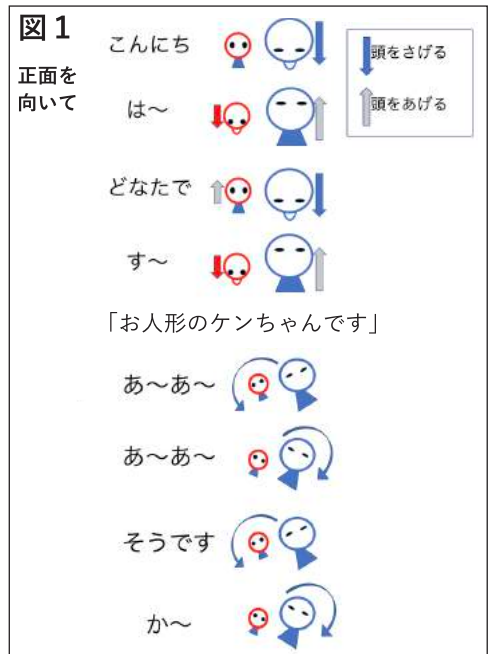
今ご挨拶をするのに、右に向かって二人で軽く会釈をして、左に向かって会釈をしてこれはまさに変則10パタですね。**(図2)**

正面に向かって、術者が頭下げる。人形が頭下げる。術者が頭上げる。人形が軽く振って頭上げる。顔を見合わせる。正面見る。そこでみなさんが拍手する**(図3)**。

- ケンちゃん
- × ナアニ
- あのね
- × ウン

テッセル先生が「大きな口を開けること」と、よくぞ言ってくれました。ここに書いてあるテキストの手順には「大きな口を開ける」はもう書かないんですが。

師匠がやると「こんにちはー」でもうみんなが笑ってるんですよ。カーテンの陰ではにこりともしてない師匠です。「こんにちはー」をみなさん今度ぜひやってみてください。第三回全国大会の時に、飽きてしまった子どもや老人たちを、5秒間で息を止めさせたんですから。やってみてください。

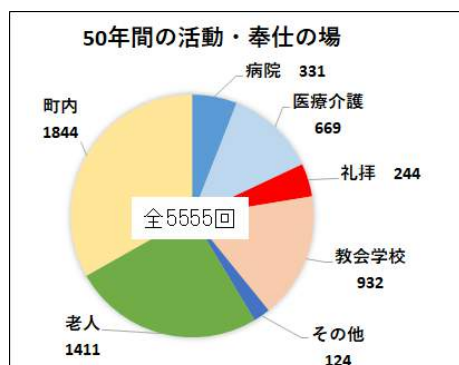


春風とんぼさん 腹話術 最終公演 祝5555回



ロゴス腹話術研究の知識の宝庫、重鎮である春風とんぼさんが、この度、第5555回公演をもって長年のボランティア活動を終えると宣言されました。約50年に渡り、各地で腹話術を通してみなさんを笑顔にし、ロゴス腹話術の楽しさ、あたたかさ、キリストの福音を伝えてくださったことを本当に感謝します。お疲れさまでございました。今後はこれまで以上に、私たち後進のご指導に力を尽くして下さるとのことで、ご健康が支えられますようお祈りいたします。

イチロー師匠からは、「とんぼのメモ魔」と言われているんです。『ロゴスの腹話術』の本の最後のページに、イチロー師匠がメモをいっぱい書いてくれています。「とんぼは私のあまり好きでない、愛する弟子のひとりです」とか、「とんぼがいなければロゴスは成立しません」ともあります。片一方で落としたり片一方で上げてくれるんですね(笑)。さらに「このロゴスにとって、唯一無二の記録魔」まぎれもなく師匠の字で書かれています。(研修会でのお話より)



この第5555回という数字は、とんぼさんの驚異的に精緻な記録により確認されているものです。第1回は、1969年8月8日岐阜坂祝教会での奉仕に始まり、2019年8月31日安城中央キリスト教会の夏のおたのしみ会で終わりました。

第1回の活動は、勉強できていない中で、教会から電話があり仕方なく行き、そのすぐ後に、イチロー師匠が当地を訪れたとのことでひやひやしたそうです。「とにかく腹話術を習ったらすぐにご奉仕すること、うまくなるのを待っていたら、いつまで経ってもうまくなりません」と口癖のようにおっしゃっています。

現役の頃、得意先の病院や薬局で忘年会や夏休みお楽しみ会があることを聞きつけては、お人形と「押しかけて」行き実演したそうです。そのよ

うな機会を通じ、院長・事務長の偉い人やスタッフの方たちと長年懇意になり、それがまわりまわって、仕事の上で思いがけず業績アップに結び付いたこともあったとのこと。礼拝は、参加されているギデオン協会(聖書を無料配布する団体)の活動として、献金してくれた教会にお礼に行き奉仕する機会が多かったようです。作業所、知的障害・身体障害児者の施設も何十年も定期的に訪問された他、地域の子ども会、老人会での演技も気軽に引き受けて来られました。

第5555回となった安城中央キリスト教会では、牧師先生、教会員の方々があたたかく歓迎してくださいました。最初に司会の方が30分ほど簡単なゲーム、歌などの雰囲気づくりをしてくださった後、とんぼさんにバトンタッチされました。

「手のひらを太陽に」(ぼくらはみんな生きている…)の歌と手話体操で会場の人たちとウォーミングアップし、カンチャンに登場してもらおうと、皆さん興味深々でした。次に、梅澤さんとクニチャンが登場し、「裸の王様」を熱演されました。続いてとんぼさんとカンちゃんの「ザアカイ」のお話、また讃美歌の「主われを愛す」を人形との掛け合いで歌い終えました。「ザアカイ」と「主われを愛す」は、イチロー師匠がよく演じた、いわゆる十八番でもあり、その王道の技術をとんぼさんが受け継いで来られたことを感じました。

お客様は、大人の他に、初めて教会にいらしたお子さんたちが多かったです。年齢、タイプいろいろなお子さんがいました。とんぼさんとカンちゃんのやり取りに子どもたちの目が輝くのが見て取れました。



ザアカイ (ルカ19章より) 春風とんぼ

- | | | |
|------------------------|--------------------|------------------|
| ○ ザアカイさんは税金を集める、お役人でした | ○ だーれも | ○ はい、はい |
| × エー コワイヒト? | × ウーン? | × ヤサシクナイ…ヒドイヒト |
| ○ むりにお金を集めて | ○ 誰も…話しかけても | ○ そうだったね |
| × ヒトニ…キラワレテタンダー | × ウン | × オジサント ソックリ |
| ○ ザアカイさんは | ○ 話しかけても…返事をしてくれない | ○ わーごめん! やさしくするよ |
| × ウン | × ソレハ…シカタナイヨ | × ヤサシク…シテネ |
| ○ さびしくて、さびしくて | ○ どうして | ○ ザアカイさんは考えた |
| × ヨダレガデソウ | × サッキ イッタデシヨ | × アッ…イジワルスルゾ |
| ○ 涙、涙ですよ…涙が出そう | ○ 何、なんだった? | ○ 違う違う |
| × アーラ、ドウシテ? | × アーラー ザアカイハ! | × ジャー…ナーニ? |
| ○ どうしてって | ○ はい、はい | ○ 町で噂の |
| × ドウシテヨー! | × イジワル | × ウン |
| | ○ あっそうだった | ○ あのイエス様なら |
| | × ザカイハ | × ウン |

- | | | |
|--------------------|--------------------|---------------------------|
| ○ きっと私に | ○ だって だって 何が何でも | × ウン |
| × ウーン | も | ○ えー泊まるのって大騒動になった |
| ○ やさしく返事を… してくれる | × ウーン? | × ソリャオコルヨー |
| × エー… シナイシナイ | ○ お姿でも 何でもすこーし | ○ ザアカイさんもおどろいて |
| ○ いやいや さびしさも救ってくれる | × ソーカー | × ウン |
| × クレナイヨ | ○ イエス様が | ○ 困っている人がいたら… |
| ○ いやいや! よし、もうすぐ | × ウン | × ナンダー |
| × ウーン? | ○ いよいよ、木の下にこられた | ○ 財産の半分は… 出しまーす |
| ○ このエリコに | × コラー ソコノヘンナヤツ | × エー! |
| × ウン | ○ ザアカイさんに | ○ いじわるして取ったお金は |
| ○ イエス様がやってこられる噂 | × ウン | × ウン |
| × エー… ホント? | ○ イエス様は やさしく声をかけた | ○ 4倍にして…返しまーす |
| ○ ひと目でよいので お会いしたい | × ナンテ? | × イッタノ? イッタノ? |
| × ワー ズーズーシイナー | ○ ザアカイよ | ○ 言った 言った もう興奮して |
| ○ … | × ハイハイ ハイハイ ワーハイ | × ワー オハナシ… デキタンダ |
| × … | ○ 急いで… おりてきなさい | ○ イエス様は |
| ○ いよいよその日が来た | × ハーイ ドシン | × ウン |
| × ワー ザーカイ ラッキー | ○ びっくりしたザアカイさんは | ○ 今日、この家に救いが来た |
| ○ イエス様が… エリコにこられたー | × キノシタニ… オッコチター | × スッゴイネー ハレルヤー |
| × ワー ワー | ○ その通り 木の下に落ちたザアカイ | ○ この人もアブラハムの子なのだから |
| ○ お通りになる道には | × オドロイタローネエ | × ワー ヤクソクノコダネ |
| × ウン | ○ 驚いたのおどろかないの | ○ そうだよ 人の子は |
| ○ お迎えする人たちで… いっぱい | × ドッチ? | × ウン |
| × スゴイヒト | ○ おどろいたの 喜んだの喜ばないの | ○ 失われたものを捜して |
| ○ 背の低いザアカイさんは、困った | × ドッチ? | × ウン |
| × サア、ドウシタ、ドウシタ | ○ 喜んだの | ○ 救うために来たのである |
| ○ そうだ | × ウレシカッタロネ | × ワー ハレルヤ ハレルヤ (おじぎして終わり) |
| × ナンダ | ○ 今日 あなたの家に泊りますよ | |
| ○ お通りになる | × ナニ? ナニナニ? | |
| × ウン | ○ 町中の人 | |
| ○ 道の先に | × ウン | |
| × ウン | ○ あーんな罪人 | |
| ○ いちじく桑の木がある | × ウーン? | |
| × アルアル | ○ 悪い人の家に | |
| ○ あれに登って | | |
| × ワー シツレイヨ | | |



カンちゃんのトランク

〈編集後記〉

春風とんぼ先生の5555回にわたる腹話術ボランティア、お疲れさまでした。その超人的な回数やロゴス腹話術の心と技を行く先方で伝えられたことは本当に素晴らしいことですが、この半世紀の長きにわたる記録を残されているということ自体もすごいと感じ入りました。みなさまもぜひご自分の活動記録を書き残しましょう。そしてそれをロゴスの歩みとして目に見える形で次につなげていけたらうれしいです。とんぼ先生のご健康とさらなるご活躍をお祈りいたします。

○年会費5000円、寄附をどうぞよろしくお祈りいたします。

【会費・寄附金振込先】(名義はともに、“一般社団法人ロゴス腹話術研究会”です)

ゆうちょ銀行：振替口座番号 00240-2-103127

ゆうちょ銀行：店名：〇二八(読み ゼロニハチ) 店番：028 普通預金 8 8 5 9 0 5 2

みずほ銀行：武蔵小杉支店 店番 3 7 8 普通預金 口座番号 2 8 5 3 7 6 6

発行：一般社団法人 ロゴス腹話術研究会 事務局
〒211-0005 神奈川県川崎市中原区新丸子町734-1

アベニオ新丸子ビル402号

TEL/FAX：044-733-6650

メールアドレス：harukaze@logos.or.jp

ホームページ：https://logos.or.jp